

④ 官民連携で実現したい「子育て支援機能」への要求事項について

官民連携で実現したい「子育て支援機能」への要求事項

要求事項は、官民連携事業の性能発注の条件の参考とします。

1. 基本的な施設機能

- 活動や遊具が多様で、市内外からの子育て世代もが行きたくなるような施設整備
- 子どもの居場所も含め幅広い子どもに対応できる施設
- 清潔で安全な環境の確保(定期的な清掃・消毒)
- ベビーカーや車いすでも入りやすいバリアフリー設計
- おむつ替えスペースや授乳室の充実
- 子どもトイレの設置
- 年齢に応じた遊具や絵本を充実
- 安心して遊ばせられる見守りスペースの設置
- 転んで遊べるスペースの確保
- 保護者がくつろぐスペース
- 育児や子育てに関する相談スペース
- スタッフルームの設置(打合せ・反省会・資料つくり)



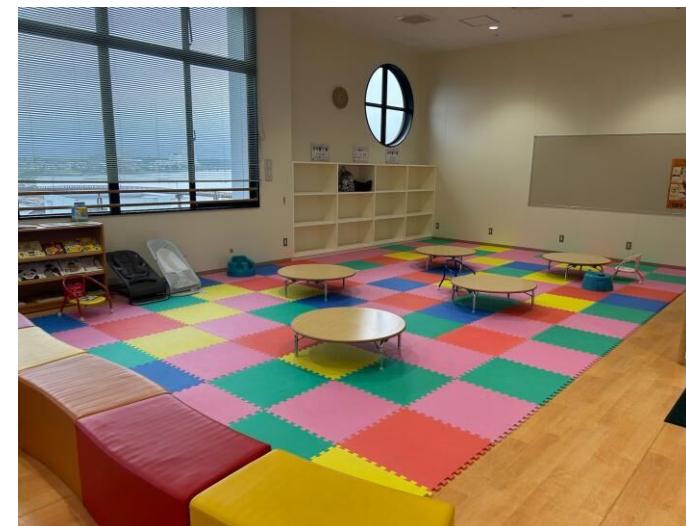
子育て相談スペース



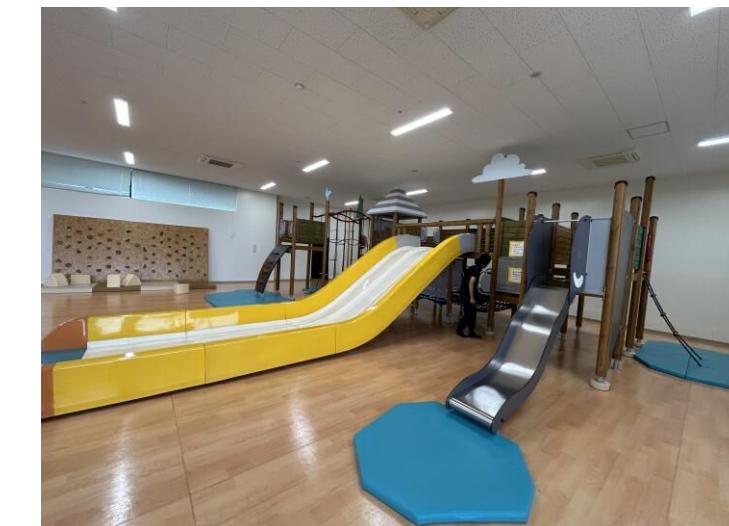
0歳エリア

2. 実施するサービス

- 天候に左右されなく外遊び相当な遊べる場所の提供
- これまで実施してきたリュッケ(子育て相談機能)のサービスの継続
- 新しいサービスについてはスタッフの確保
- 年齢別の遊び・交流プログラムの提供(0~1歳、2~3歳など)
- 保護者向けの子育て講座や交流会の開催
- 子どもと一緒に楽しめる季節イベントやワークショップの開催
- 育児相談やカウンセリングの実施(常設または予約制)



飲食コーナー



大型遊具(滑り台)

3. 運営面

- 開館時間の柔軟性(他の施設内サービスとの調整・セキュリティ)の確保
- 利用予約の簡便化(Web予約やLINE予約対応など)対応
- イベント情報や日々の活動紹介などの充実(携帯で見れる)
- 一時預かりサービスの拡充

参考事例:唐津市子育て支援センター

子育て家庭への切れ目ない支援を目的に設置され、子育て中の人とそのお子さん、これから出産を予定されている人、子育てに関心がある人などが気軽に利用でき、子育ての相談や交流ができる施設です(唐津市HPより)